



夏は糖尿病を発症、症状が進行しやすい季節だ。暑さから体を動かさず、昼間は炭酸飲料などをがぶ飲み、寝苦しい夜は飲酒で過ごすことが多いからだ。問題は糖尿病の合併症である神経障害の症状を知らないばかりに糖尿病を放置し、重症化させている人がいること。あなたは大丈夫? 商会社に勤める吉田孝さん(仮名、42歳)は、昨年夏、今までにない体温の変化に気づいた。急に立ち上がるためまいがするお腹が渋り下痢が続く、食事のたびに大汗をかく——などだ。

吉田さん「冷たいものばかり食べたり飲んだりしていたので、めまいは貧血、下痢はお腹が冷えたせい」と軽く考えていました」

8月に受けた会社の健康

診断で、1~2ヶ月の平均的血糖値を示すHbA1c値が7・6% (6・5%以上は糖尿病) に。治療のため紹介 糖尿病専門医で「しんく

された糖尿病専門医からリニック(東京・蒲田)の幸浩基院長が言う。

「糖尿病性の神経障害はわれます。しかし、そもそも、自律神経の異常が糖尿病だと知

れ、多くの糖尿病の患者さんが経験する症状です。合併症の中で最も早

く出て、早い人で発症か障害に伴う腸管の蠕動運

は、味覚性発汗といい、通常は辛いものを食べたときに汗が出ますが、甘いものや酸っぱいもので

## 下痢、便秘、汗つかき

# あなたの体調不良は糖尿病が原因だ

では、糖尿病性神経障害とは具体的にどんな症状を招くのか?

代表的なものに手足のしびれがある。とくに足の裏がじんじんして、砂利の上を素足で歩くような異常知覚を感じるとい

ります」(幸院長)

下痢や便秘といった胃

腸の不調も糖尿病性神経

障害の典型的な症状だ。

と、それが機能せず、脳

の血圧が一気に下がり、立ちくらみが起きるので

す」(幸院長)

下痢による下肢のこむら

り、腹痛を伴わないこと

が多い。便秘は自律神経

障害を疑った方がいい。

「食事中に汗をかくの

血糖値を測ることだ。

男性の場合、夜の嘔みが弱くなつた」という人も多い。毎食、汗をかくというのには神経障害が起きており、可能性があります。逆に暑いのに汗をかかな

くなったという人もいます。汗が出ず、皮膚が乾燥することで、かゆみが出ることもあります

ます。汗が出ず、皮膚が乾燥すること、かゆみが出ることもあります

ことになります。これを放置すると痛みのない心筋梗塞を起こし、突然死する

ことがあります。これで